

ふるさと納税で積丹町に応援を

自

分の生まれ育った「ふるさと」の力になりたい、自分との関わりの深い地域を応援したい、その想いを自治体に対して「寄附金」という形で応援した場合に、住民税や所得税が軽減される「ふるさと納税」。

町では、広報紙や町ホームページにより広く周知するとともに、札幌しゃこたん会のご協力をいただき会員の皆さんにお知らせをしてきました。

8月末現在において、積丹町には道内外の10人から29万5千円の寄附があり、そのうち道内は8人で札幌しゃこたん会会員から、道外（群馬県、兵庫県）は2人で、いずれも積丹町出身者から寄せられている状況です。

町では、ふるさとへの応援を形にしたこの「寄附金」について、地域の活性化により一層力を入れることによって、自分

育んでくれた故郷の良さを再認識していただき、皆さんとのきずなを強め、寄附して下さった方への「志」に添えていきたいと考えています。

ふ

「ふるさと納税」は、皆さんのふるさとを応援したい

という善意を寄附という形にしたい。この機会に、積丹町の自然や歴史、産業などさまざまな優れた資源や町民との出会いや交流を通じて、

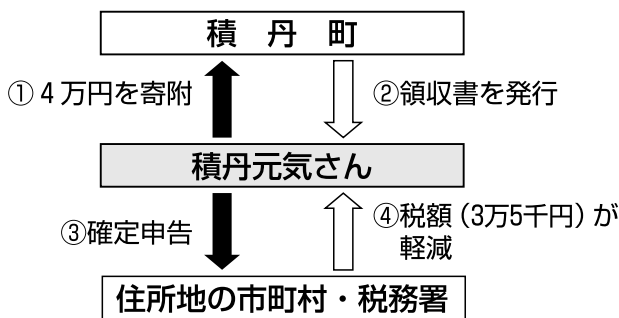
当町に魅力と関心を寄せられておられる道内外の積丹ファンの方々からの今後の積丹町の活性化と地域の振興への参画支援をお願いしたいと思います。

.....

ふるさと納税が開始されて5か月が経過した現在、各町民の皆さんには町外にいらっしゃる家族や親戚、知人や友人に度々PRし協力を呼びかけ、中には地元の特産品を贈り寄附のお礼をしている自治体もある中、当町では、今後の寄附金の運用について、他町村の動向や関係機関の意見も参考にしながら寄附金に関する条例制定のあり方や運用方法について検討を行う111)まで。

ふるさと納税のイメージ

町外にお住まいの、積丹元気さん「夫婦+子ども2人(年収700万円)」が、故郷積丹町に対して、4万円を寄附した場合。



【軽減額の計算】

■ 積丹元気さんは4万円を寄附

寄附金 4万円

■ 4万円の寄附金のうち、5千円を引いた3万5千円が控除対象額

控除対象額「4万円-5千円」=3万5千円

①「所得税」からの税額控除 3,500円

②「住民税」からの税額控除 3万1,500円

3,500円(①)+3万1,500円(②)=3万5千円が軽減されます

寄附金の使途は

3つのテーマから指定

町では、皆さんから寄せられた寄附金の使途は、第4次積丹町総合計画（平成4年度～23年度）の基本構想に定める当町がめざす「町の将来像」の理念に沿った施策の展開のために活用させていただくことを基本として、現段階では次の3つのテーマから指定いただき、各分野の広い範囲に予算を使用します。

1. 自然や風景を大切に誇りのもてるまち

(例) 神威岬や島武意海岸など地域の美化清掃活動

2. 誰もが安心して暮らせるまち

(例) お年寄りの訪問安否確認や配食サービスなど地域で支える高齢者福祉サービス

3. 生き生きと活気あふれるまち

(例) 地域特性を活かした漁業・農業・商工観光業の振興

ふるさと納税 寄附者一覧 (平成20年9月19日現在)

寄附者名	寄附金額
匿名	5,000円
加我源三郎様	10,000円
大沢哲様	※
新井田優頼様	※
竹内勇様	※
豊島ミツエ様	※
成田末美様	※
長谷川秀男様	10,000円
藤谷正裕様	100,000円
下田泰蔵様	100,000円
10件	295,000円

【備考】

- ・寄附された月日順に掲載しています。
- ・寄附者名の公開を希望されていない方は、「匿名」で掲載しています。
- ・「※」は寄附者の希望により、氏名のみ掲載しています。



170人が海浜清掃に汗 町を挙げクリーン作戦



子ども達の夏休みやお盆休暇も終わり、海水浴客らが一段落したのを受けて町を挙げたクリーン作戦が8月24日、今夏キャンペーンや海洋レクリエーションなどで多くの賑わいを見せた町内の海岸や漁港など21箇所で行われました。

余市警察署、小樽土木現業所余市出張所等の職員や関係者のほか、観光協会や商工会、婦人会、老人クラブなどの各種団体のメンバー約170人が清掃活動に汗を流しました。町では、8月上旬に2回、



ごみ持ち帰り運動やマナー向上を呼びかける啓発活動を実施しており、今回のクリーン作戦は第3弾となります。

収集されたごみは、焼き肉用の網や空き缶、ペットボトルのほか、浮き玉といった漂着ごみなどさまざまで、総量は4トントラック1台分にもなりました。今後とも町民ぐるみで「リサイクルと「ごみ持ち帰り運動」を推進し、美しい自然環境の保全に町を挙げたPR活動に取り組み、運動の定着化を目指しましょう。